

特殊詐欺の認知状況(令和元年10月末) ~10月は3件の被害を認知~

1 県内の特殊詐欺の認知状況 (令和元年10月末現在)

- 被害認知件数は**28件** (前年同期比-15件)
- 被害額は**約1億9,220万円** (前年同期比+約1億210万円)

2 令和元年10月の認知などの状況

- 被害認知件数は3件 (前年同月比±0件)
- 被害額は1,350万円 (前年同月比+800万円)
- 手口は
 - ・オレオレ詐欺 (借金等の返済名目) 1件
 - ・オレオレ詐欺 (その他の名目) 1件
 - ・架空請求詐欺 (その他の名目) 1件

3 10月の特殊詐欺事案

長崎市内に居住する50歳代男性の携帯電話に「資産倍増モニター」というメッセージが送られてきたことから、興味を示した男性がメッセージに記載されたURLをクリックし、氏名や電話番号などの必要事項を登録したところ、「1口千円預けるとお金が増えます。」などという電話がかかってきたため、男性は10口分の1万円を振り込みました。

その後、再度男性に「あなたは特別コースに選ばれました。短期間で20倍になります。」などという電話がかかってきたことから、これを信じた男性が複数回にわたって合計700万円を振り込み、だまし取られたものです。

下記のような場合は、詐欺を疑い、十分注意しましょう！

- ◎ 電話・FAXなどで融資勧誘が行われる。
- ◎ 会社との契約であるのに、個人名義の口座に振り込ませる。
- ◎ 振込先の口座が二転三転する。



4 被害状況など

~被害者の年齢・性別構成~

年齢	令和元年10月末(人)		
	男性	女性	計
0 ~ 19	-	-	-
20 ~ 29	-	-	-
30 ~ 39	4	1	5
40 ~ 49	1	1	2
50 ~ 59	2	1	3
60 ~ 64	1	1	2
65 ~ 69	1	1	2
70 ~ 79	3	5	8
80 ~ 89	1	3	4
90 ~	-	2	2
合計	13	15	28
うち65歳以上の高齢者	5	11	16

~特殊詐欺全体の被害金交付形態~

交付形態	令和元年10月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	8
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	1
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	4
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	8
キャッシュカード受取型	5
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	2
合計	28